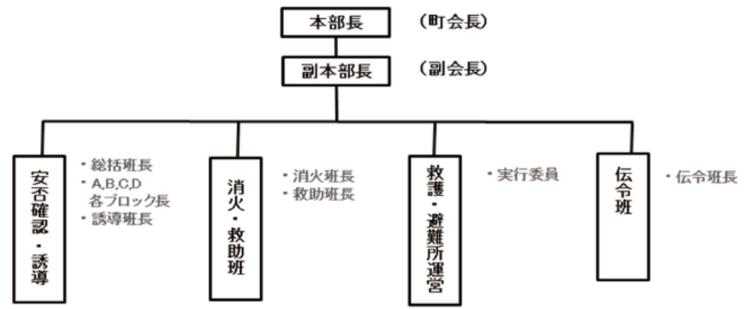


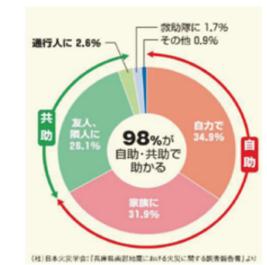
新今里4北町会 防災本部



自助・共助が命を救う!

■阪神・淡路大震災で生き埋めになった人たちが誰によって救出されたか?

阪神・淡路大震災では、生き埋めになり救助された人の98%が自助と共助で助けられました。一方、公的機関によって生存したまま救出された人は、わずか1.7%という記録が残っています。



この教訓を生かすべく、各ブロックに於いて要援護者を救護出来る人員を出来るだけ確保し、また防災リーダーとして種々訓練を重ねながら住民全体の防災意識のより一層の向上と啓蒙を図ってゆきたい。

高齢者が増え、種々の要因から地域のコミュニケーションが困難になりつつありますが、もしもの時の為にも地域との交流を保ち隣近所の人や地域の防災リーダーなど自主防災組織の人たちと連携し情報の共有化、日頃の備えなど協力体制を整えたい。

新今里四北 防災マップ



避難計画概要

東南海地震など未曾有の災害発生が予想される現在、住民の生命、財産を守り被害の軽減を図るべく計画するものです。
(以下、災害発生時刻にもよりますが、概ね基本とするもの)

		日頃の留意点
発生	大災害	<ul style="list-style-type: none"> ○自身の安全確保、家族の安否確認 同時に出入り口の扉を開け避難に備える ○ガス、電気は揺れが収まってから元栓を閉め、ブレーカーを切りましょう (再度利用時確認すべし) ○屋内の家具等の転倒防止 ○寝室に靴を常備する (避難時に足元を守る為)
町会本部設置		<ul style="list-style-type: none"> ○概ね震度5以上で設置する 近鉄今里駅高架下東側P前 (一次避難所とする) * 非常持ち出し袋の常備例・懐中電灯、ラジオ、タオル、下着、保温シート、乾パン、水3リットル/日(1人) (必要分を常備確保)、ビニール袋、ぬれティッシュ等
集一次場	避難所	<ul style="list-style-type: none"> ○各ブロック毎に要援護者の安否確認 救助等救援活動をし集合場所へ ○災害時避難行動要支援者は福祉避難所 (天理教葛上分教会)へ移動する ○初期消火、人命救助等 町会本部と連携しながら協力しましょう ○浴槽、洗濯機に水を溜めておく ○持病のある人は薬(お薬手帳)を持参する (すぐ持ち出せるように保管する)
災害時避難所		<ul style="list-style-type: none"> ○災害時避難所(東生野中学・体育館)へは 町会本部長他役員の指示に従って移動する * 団体行動が困難な状況下では個々随時の避難も有為である
集中豪雨	津波	<ul style="list-style-type: none"> ○最悪3~4m程度の浸水が予測される。 ○避難勧告が発令されたら各ブロック長の誘導等により3階以上のビル、マンション、近鉄今里駅等に避難する